



おにぎり通信

2023年9月23日（土曜） 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷・市ヶ谷周辺、有楽町、銀座、日比谷公園、茅場町、日本橋、お茶の水、秋葉原、東京駅周辺などで生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

今日、9月23日（土）は秋分の日です。「暑さ寒さも彼岸まで」で、秋の気配が漂ってきてはいますが、まだ暑い日もあります。今年の暑い夏を振り返っていたら、裏面にある二つの句に出会いました。夏に頑張った疲れが出るころですので、体調には注意の上にも注意してください。

福祉行動を希望の方は、

おにぎりを配るときに、お声がけください。

病院や生活相談などで福祉事務所へ行くことを希望される方

は、おにぎりをお渡しにうかがった際に、お声がけください。毎

週 土曜日の訪問活動の時に声がけいただいた場合、翌週以降に

福祉事務所まで同行します。

中央区福祉事務所・中央区築地 1-1-1 中央区役所 4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階

日付	24日 (日)	25日 (月)	26日 (火)	27日 (水)	28日 (木)	29日 (金)	30日 (土)	01日 (日)
東京都 千代田区	曇のち晴 27/21 30%	晴のち曇 28/19 30%	晴 30/20 10%	晴時々曇 30/21 40%	曇 28/22 40%	晴時々曇 32/23 20%	曇時々雨 26/25 90%	曇時々雨 25/20 70%

「人間に火星近づく暑さかな」

うえ かか はいく しじん はぎわらさくたろう さく めいじ ねん う
上に掲げた俳句は、詩人の萩原朔太郎の作です。明治19年に生まれ、
しょうわ ねん な はぎわらさくたろう じだい かせい
昭和17年に亡くなっていますから、萩原朔太郎の時代には火星にはきつ
なに かんが おも えたい し
と何かあるにちがいないと考えられていたと思います。その得体の知れな
かせい はいく しゅういつ ちきゅう ちか
い火星が近づいてくる。しかも、この俳句が秀逸なのは、「地球に近づく」
にんげん ちか
とせず「人間に近づく」としたところです。

ちきゅう ちか いんせき しょうとつ おもしろ
「地球」に近づいてくるだったら、隕石の衝突みたいで、あまり面白くあ
りませんが、にんげん ひ たま ちか あつ
「人間」に「火の玉」のようなものが近づいてくるから「暑い
んだ」といわれると、おな あつ きゅう みちか ぶき
同じ暑さでもどこか急に身近なものに、そして不気
み かん そこし いじょうきこう じだい はいく こう
味なものに感じます。底知れぬ異常気候のこの時代にこそ、この俳句は幸
ふこう げんじつみ かん
か不幸か現実味を感じさせます。

「ほらごらん猛暑日なんか作るから」

ねん なかはらさちこ はいく なつび まなつび くわ
こちらは、2007年の中原幸子さんの俳句です。「夏日」「真夏日」に加
えて、もうしょび ねっちゅうしょう ようご せいてい ねん
「猛暑日」「熱中症」という用語が制定されたのが2007年のこと
です。それから十数年で、じゅうすうねん もうしょ あ まえ く
猛暑が当たり前になってしまいました。この句
にあるように、あたかもこんな言葉を作ったから現実になってしまったか
ことば つく げんじつ
のようです。ど まなつび すず おも
30度の「真夏日」なんてまだまだ涼しいほうだと思いうように
なっ どもご あ まえ なん な
なってしまいましたね。40度超えが当たり前になったら、何と名づけるの
ごくしょび
でしょうか。〈極暑日〉？

よ や なかま ちよだくこうじまち せい きょうかい
四ツ谷おにぎり仲間 千代田区麹町6-5-1 聖イグナチオ教会

れんらくさき
連絡先 080-7967-8672

れんらくかのうじかん まいしゅうどようび ごごじ ごごじ
(連絡可能時間 毎週土曜日 午後3時～午後6時)